

※個人や企業が特定される部分についてはCeFILで一部修正しています。

感想	
1	募集要項には具体的な実習内容が明示されておらず開始当日まで不安だったが、指導者の方を始め、職場の方々がとても親切に接してくださり、とても実習を行いやすかった。 また、個人的に立てていた目標(職場の雰囲気を知ること、上流工程を担当するSEの業務内容を知ること)を十分に達成でき、大変有意義な実習期間を過ごすことができた。
2	普段の開発とビジネスとしてのシステム開発が保守性や可読性、品質の部分で大きな差があり、それらの必要性を実感できた貴重な体験だった。
3	すばらしいインターンの機会を与えていただき、感謝します。インターンについては、内容自体については満足しているが、その他の事項で不満に思うことがあった。もう少し改善していただきたいと思う。
4	社員間のコミュニケーションがよくとれており、仕事を効率的かつ円滑に進めている社風を知ることができた。また、実習を通して実習内容の品質マネジメント手法についての知識を得られたと共に、定期的に会議に参加させて頂くなど貴重な体験ができた。実習を通して、研究生生活では分からない自身の課題を数多く発見することができ、意識を変えることができた。
5	集団で参加するインターンと違って、一人で一か月という期間参加できたことはCeFILでないとできないことだから非常に有意義だった。社会人としての考えを吸収できたのではないかと思います。これからの人生に活かしていきたい。
6	期間が短いと思います。本当にいろいろな勉強になったのもっと期間を延ばしてほしい。
7	このインターンシップで、自分のSEとしての適正や、自分の悪い点を把握することが出来ました。学生のうちに上記2点について自覚し、悪い点を改善していこうと励むきっかけを得られた点で、非常に有意義なインターンシップだったと思っています。
8	実際に行くまでインターン内容がわかりにくかった。手間だとは思いますが予め資料や参考資料を示してほしい。
9	こちらの知りたいことに焦点を当てた実習内容になっており、かつ指導者が常に進捗の確認などを行ってくださったため、円滑に実習を行うことができた。また、社内での実習だけでなく社外でのセミナー参加や企業見学など様々なイベントを企画してくださりとても充実したインターンシップだった。
10	インターンシップでは特に不満はありませんでしたが、CeFILのエントリシステムの改善やCeFIL基準をもう少し早く提示してほしいです。
11	17日間の実習期間を通し、サーバサイドでの構築経験や書類作成経験を始めとする知識を新たに取り入れることができた。インターンシップ終了後においても活用することができる知識や技術を得ることができたと感じている。また1ヶ月を通して企業内を見ることができ、会社の雰囲気や環境を知ることができたと実感した。社員との対話を通じて得られた情報もあることから満足の行く結果を残せたのではないかと考えた。
12	
13	
14	社員の方々は皆、親切で優しく過ごしやすい環境でインターンを行えたので良かった。 ただ、インターン期間中に調理することができないため食費がかかってしまったり、光熱費水道代など出費がだいぶかかってしまうので、もう少し補助してもらえると助かる。
15	自分の知らない業界でシステムがどう関わっているのか知りたいと思い参加して、実際に所管システムを知ったり、システム開発の現場を見ることで、この業界とITの関わりは非常に深いのだなと自分の肌で感じる事ができました。様々な業界からインターンシップの提供があると学生としては貴重な機会となるのではないかと思います。
16	インターン先企業についてはおおむね満足することが出来た。CeFILのインターン先企業を決定するプロセスに大きな問題がある。CeFIL基準は来年から撤廃したほうがよい
17	一か月という長い期間企業で働いてみて、より具体的に社会で働くイメージができた。 社会で必要なスキルも分かったので、就職するまでにそのスキルを磨いていこうと思った。
18	CeFIL基準については前もって知らせておいてほしいです。 インターンシップ自体はテーマについてはもちろん、テーマ以外の業務(勉強会、他グループの研究見学など)も行わせていただいて、充実していました。 また、業務以外で飲みに行ったりしてお話する機会も多々あり、そのような機会は普段はあまりないので、よかったです。

19	外国人として、インターンシップを探すのにCeFILを通じることはとっても助かった、実習する時、日本会社の文化、雰囲気と中国との違いを感じて、良い経験が出来た。そして、正しいリズムの生活もできた。
20	得るものは多かったが、もう少しモノづくりがあれば良かったと思う。業務内容の詳細をインターンシップの紹介に書いて欲しかった
21	インターンを通じて、今月の収穫がいっぱいです。
22	この度、数ある企業の中の一つにインターンシップとして、社員として働くという経験することができた。企業の規則(セキュリティ、就業時間等)、開発業務、勤務外のこと(歓迎会、送別会)といったようにあらゆる角度から企業のことを知ることができ、非常に有意義な時間を過ごせたと思う。1か月という短い間、ほぼ毎日不明点が出たが、その度にチューターの方が丁寧に教えて下さったおかげで、無駄な時間を過ごすことなく取り組むことができたことが良かった。
23	
24	CeFIL紹介のインターンは給料が低い。利益を得るところまでは必要とは言わないが、インターン開始から終了まででマイナスとならないようにしてほしい。今回は21日間で食費補助が3500円、会社の昼ごはんが400(円/日)だった。
25	今回のインターンはとてもよかった体験だと思います。開発現場の雰囲気を感じてきた、自分の不足と未来の発展方向も見つけました。インターンで身に付けたことを今後も活用したいと思います。
26	今回は大変貴重な経験をさせていただいて感謝しています。CeFILの支援、学校の支援があることにより、インターンの準備などはあまり時間を取られることがなく、その分の時間を学業に費やす事ができ、そしてスムーズにインターンに移り、無事終える事ができました。感謝しております。インターンシップはとっても楽しく、知識と経験の融合がこんなにもおもしろいのかと自分の頭の中は常にワクワクしていました。とても有意義な時間をありがとうございました。
27	今回のインターンシップに参加して、実際の会社がどのような環境でどのような業務を行っているのかということだけでなく、企業に勤めている方たちが社会人としてどのように過ごしているのかということを実際に体験することができインターンシップに参加してよかったなと感じた。1か月という期間は長いと感じていたが、実際業務を行うと仕事の内容がやりがいがあったため、とても短く感じた。今回のインターンシップで学んだことを今後の研究や企業選び、就職活動に生かしていきたいと思う。また、インターンへの参加を積極的に後輩勧め、ぜひ後輩にもいい経験をしてもらいたいと思う。
28	研修を通して、就職する前までに身につけておきたいスキルや、自分なりの課題が見つかりました、今後の大学生活の中で身に付けていきたいと思っています。また、インターンシップ研修前は職場で働くということに対して全くイメージが出来ず就職を漠然としたものとしか考えられなかったのですが、今回の研修を通して就職に対する考え方を持つことが出来ました。大学内の勉強では学ぶことの出来ないような体験をさせていただけたので、インターンシップに参加して良かったと思います。受け入れて下さった企業の方や関係者の方々に大変感謝しています。
29	今回、インターンシップ活動を通して、開発プロセスにおける要求仕様と設計の重要性や、相談する事の必要性を学んだ。開発プロセスに関しては、要求仕様書に必要な項目が欠けていた事から、設計書に検討違いな内容を埋め込んでしまい、メイクで大幅に時間を費やしてしまうという失敗があったことから学ぶ事が出来た。また、相談する事の必要性に関して、上記と関係することだが、そもそも担当の方が忙しそうだからという理由で相談をあまりしなかった事により要求仕様書に必要な項目が欠けてしまったので、そこから相談する事の必要性も学ぶ事が出来た。以上、学んだことから、これから何を頑張ればいいのかを明確に出来た為、就職した際に即戦力として活躍できる人材になれるよう、努力を重ねていきたいと思う。
30	今回、インターンシップに参加して、企業の業務を担当したり、企業の方との交流を通して、「企業」というものがどういったものを少しは理解できたのではないかと思います。また、仕事の大変さ、難しさ、責任といったことも仕事をしていくうちに感じる事ができました。また、企業の方にうかがった話に「結果主義」というものがありました。仕事上のプロセスが良くても結果が出なければ意味がないということを話していただきました。結果を出さなければならないという意味では研究と同じだと思うので、今後はしっかりとした結果を出せるように頑張っていきたいと思っています。
31	今回のインターンシップでは次の3点について目標を立てて実習に臨みました。1つ目は、社会人基礎力の向上、2つ目がスキルの獲得、最後に今後のキャリアについて考える材料となる情報を得ることという3点です。社会人基礎力としては、初日に自己評価をしまして、主体性、計画性などに弱点を見つけ、それらを意識することで積極的に活動することができました。また、スキルの獲得につきましては、獲得できたスキル(プログラミングやHadoopに関するスキル)もありましたが、それ以上に必要なスキルというものに気づくことができました。最後の今後のキャリアのための情報としましては、会社の雰囲気やどんな業務が存在するのかといった情報を得ることができ今後の就職活動に活かしていきたいと思いました。まだまだ、学生生活の中で身に着ける必要のあるスキルも発見できましたので、今後の学生生活を頑張っていきたいです。

32	今回、インターンシップへの参加が初めてだったのですが、6週間でも期間が短い(定時帰り、土日祝日完全休みのため)と感じましたし、ほかの企業も見てみたいと感じました。また、企業ごとでテーマの出る時期に差があったため、受け入れ先決定後にもっと自分のやりたいテーマが出てくる可能性もあるように感じたので、その部分に関しては統一化した方がいいかと思いました。しかし、Cefilのインターンシップは実践経験を積むことのできるテーマばかりで、期間の指定もあるので自分にあったテーマを選択する際にはとても効果的であったと思います。
33	今回のインターンシップでは、私は主に私のスキルの力試しやまた私の得ていないスキルを認識することといった技術面に関することを目的として参加した。しかし、この体験を終えた今、私が一番に得ることができた良かったと思えていることは、企業や社会に対する自分の在り方・心の持ち方という精神面に関する教えである。なぜなら、この教えは、私がインターン先でお話した社会人の方々のほとんどが口を揃えてお話ししてくれたことであるからであり、つまり、私がどのようなところに将来就いたとしても、その教えは私のことを手助けしてくれると考えたからである。
34	インターンシップを終えて、様々なことを感じることができました。インターンシップ前は、実際のシステム構築プロセスに触れることを主目的として望みましたが、構築する上での課題管理やお客様とのやりとり、データの取り扱いに関する決定事項を業務へ反映させることなど、私が思っていた学習内容と異なることも学ぶことができました。本当に自分のこれからの人生で、会社とはこのようなものだということを感じさせる内容のインターンシップとなり感謝しております。
35	今回インターンシップでの実習およびCeFIL合同フォーラムに参加し、様々な経験をすることができ、また多様な考え方がありと体験出来た。実習に関しては本来予定されていなかった業務を行うこともあったが、その体験も含め貴重な経験だった。また合同フォーラムに参加することで、他の学生の考え方、企業の方が学生に期待していること、学んで欲しいこと等を知る事ができた。この体験を学業のみならず、今後の人生において活かして行きたいと思う。この体験を早い段階でしたもらいため、今後は学部生の参加を促進して行ければいいと思う。
36	インターンシップに参加する上で私にはいくつか目的があった。一つ目は、「IT職の実態について知りたい」というものである。私は希望する職種としてIT職を考えているが、実際の業務でどのようなことを行うかを全く知らなかった。しかし1ヶ月間実際の職場で働くことで業務内容についてある程度把握することができ、また、この職業に就くという思いを一層高めることができた。もう一つ、「システム開発を経験したい」という目的もあった。こちらも、実際の製品開発に携わるという非常に貴重な体験ができたと同時に、システム開発に関するスキルや知識の習得ができたことで十分に達成できた。私にとってインターンは大学に在るだけではできない体験や勉強ができる非常に有意義なものであった。参加できて本当に良かったと思う。
37	受け入れていただいた会社では、工学、情報、材料など様々な分野の部署があり、インターン生も様々な分野から来ていて、あまり聞くことのできない内容とかも聞くことができ刺激を受けました。また、実習中は社会人の方の考え方の違いに触れることができ、今後の自分に活かせるものを数多く学ぶことができた。また、携わってくれた方々がとてもよくしていただいたので、実習期間本当に楽しく過ごすことができ、また、企業の内情も知ることができ、本当に貴重な体験ができました。
38	インターンシップに関する募集要項の内容、宿泊施設の準備、指導員による学生の教育など、全体的にインターンシップに関して意欲的に取り組んで頂けたため、テーマへの取り組み、それによる自身の学習に集中できた。学習内容としては、実務上で気をつける点、実務での成果を効果的に伝えるための発表資料づくりとその発表方法など、大学で行う場合との違いが知ることができ、非常に充実した一ヶ月であった。実務を通じた学習以外でも、企業内での各部署の役割や就職活動で気をつけるべきことなどを教えて頂けたので、就職に関する不安や疑問点が解消された点も含めて、インターンシップに参加して良かったと思われる。
39	今回私が参加したインターンシップは二ヶ月に渡る長期のものでした。応募当初はそこまで深く考えていなかったのですが、参加直前には少し長すぎるのでは、と感じるようになっていました。実際インターンシップが始まって一週間は非常に長く感じ、これで二ヶ月かと気分が重くなっていました。しかしながら、二週目から実際の課題をこなす始め、日々どう課題をこなすかという事を考えながら動いていると時間が早く過ぎるようになり、終わってみると短いのではと感じた二ヶ月でした。多くのことを学ばせてもらい、個人的にも就職への考え方が改まり、非常に貴重な経験をさせていただきました。
40	受け入れ先の方々の技術力の高さに感銘を受けた。他の大手企業にインターンシップに行った友人や先輩の話を知っている限りでは、大手企業は技術を外部発注することがほとんどで、技術力はないという話であった。しかし、インターンシップを通して内側を見てみると、どなたも確かな技術力を持っていることが、会話をするだけで伝わってきた。また、自分が身につけてきた様々なコーディング技術も、使えるのが当然という扱いで研修をさせて頂き、将来技術者になる者として、身の引き締まる思いだった。今まで当企業を意識する機会が少なかったが、今回のインターンシップを通してとても興味がわいた。インターンシップのおかげで、就職活動前に貴重な気づきを得ることができた。

41	<p>学校では経験することができない、とても充実した6週間を過ごすことができました。</p> <p>会社での経験もちろんですが、Cefilの合同フォーラムも予想以上に収穫が多く、考えさせられることばかりでした。</p> <p>このような機会を作って頂き、本当に感謝しています。これからもこの活動を続け、発展させて行ってほしいと思います。何かお手伝いできることがあれば呼んでください。</p> <p>本当にありがとうございました。</p>
42	<p>今回私は将来情報工学系の企業で働く際に、自分がどのような心掛けをもって業務に励むべきなのか、情報工学系の企業の一員としてどのような視点を持てば良いのかを学びたく、インターンシップに参加しました。テーマの内容はネットワークサービスのセキュリティということで自分の研究分野とは少し外れた物を選択しましたが、実際に業務を体験し企業につめる方々の心掛けや働く姿を見て上記の目的は達成できたと思います。また実習の内容自体も非常にやりがいがあり、なおかつ実際に行われている業務とほぼ同等の内容で充実したインターンシップだったと感じました。</p>
43	<p>インターンシップのガイダンスから、テーマ決定、実習まで円滑に進み、インターンシップも充実しておりCeFILのインターンシップには満足している。インターンシップを通して、大学で学んだプロジェクト管理などの知識を役立てる事ができ、教育の重要性を再確認することができたことも良かった。また、9月13日のCeFILフォーラムでは他大学の方との意見交換や、企業の方の興味深いお話も拝聴することが参加できて良かったと感じている。</p>
44	<p>今回の実習ではLinuxカーネルの実行状態を調査したことで、カーネルがプログラムをどのように実行しているかということ等の知識を得ることができました。プログラミング経験はありましたが、Linuxカーネルのようなシステムの中核となるプログラムは、今回が初めてのことで貴重な経験になりました。朝8～9時に出社して夕方17～18時に退社するまでの時間がものすごく短く感じると同時に、1か月が如何に短いかを思い知らされました。社員の方達には分からない所のサポートや仕事終わりに夕食をご馳走になったりと、担当者の方はもちろん別の部署の方達にもとても親しくしていただきました。温かで引き締まる、メリハリのある1か月でした。</p>
45	<p>他の企業はわかりませんが、受け入れて頂いた企業はとても楽しくインターンシップに参加することができました。</p>
46	